

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書6月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【27000冊ガーデン】大崎梢／著 双葉社

県立高校の図書館に勤める学校司書、星野駒子はたまたま居合わせた書店員・針谷敬斗と共に、生徒が巻き込まれた事件の解決に一役買う。二人のもとには、ディスプレイ荒らしなど、図書館の本にまつわる謎が次々と持ち込まれ……。

学校図書館を舞台にすべての本好きに贈る心あたたまるミステリー。

【さくらももこのことばと人生（心を強くする！ビジュアル伝記 04）】

さくらプロダクション／監修 ポプラ社

みんなが憧れるような生き方をしている人たちは、例外なく、自分のすべきことに没頭し、だれよりも多く挑戦して失敗してきた。

『ちびまる子ちゃん』『コジコジ』など、多くの人に愛される作品を生み出した漫画家、さくらももこの漫画やエッセイなどから、エピソードとともに、さくらさんのことばを紹介し、その人生をたどる。

資料ページも充実した、朝読にも最適なビジュアル伝記。

【ひとりあそびの教科書（14歳の世渡り術）】宇野常寛／著 河出書房新社

他人の反応なんか気にならないくらい、「あそび」に夢中になっていい！ ランニング、虫採り、旅、コレクション、模型、ゲーム、映画……。 「みんな」ですることじゃ「ない」楽しいこと、「ひとりあそび」の方法を知ってから大人になる人こそが、世界をおもしろくできる——他人の見方や、評価などを気にせず、純粋に、自分が触れたものに喜びを感じる方法を学ぶ。

【10代が考えるウクライナ戦争（岩波ジュニア新書）】岩波ジュニア新書編集部／編 岩波書店

21世紀に起きた大国による軍事侵攻を若い世代はどのように受け止めているのか？ 衝撃、不安、怒り、苛立ち、不信、そして自分に何ができるのかを模索する若者たち……。

各地の高校生に率直な思いを聞き、若い世代が戦争と平和について共に考えるための一冊。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。